

「ドラゴンボール」は永遠に続くんだ

四年 笹川晃一朗

ぼくは、最初ドラゴンボールが、あまり好きではなかった。ただの戦いの話だと思ったから。天下第一武道会なんてほんとはないし、あまり楽しくなかった。だけど、戦っていくうち悟空が成長していくことや、クリリン達との友情や、いろんなことが今のぼくと同じだなと思うシーンがいっぱいでてきた。だからぼくは今、ドラゴンボールが大好きだ。

友達と一緒に見ていてもみんなこうふんして見ている。そして悟空や悟飯が活躍するも、みんなであれしくてニコニコする。ぼくは、「アニメばかり見るとオタクになるよ」とたまに言われるけど、よく意味がわからない。悟空に勇気や元気をもらって、学校でがんばれる時があるからだ。

そしてびっくりしたのは、ドラゴンボールを、大学生のぼくのお兄ちゃんも、一緒に見て、そこにお父さんもまぎって、三人で見

いることだ。お父さんは昔、連さいまんがと
合わせてテレビアニメを見ていたと言う。お
兄ちゃんか「おれも小学生の時、ドキドキし
ながら見てたんだよ」と言った。ぼくも今、
楽しみにしているから「お兄ちゃん結果は教
えないでね」と言うところか、
てるいと笑う。年が全然違うのに、みんなで
ワクワクドキドキしながら、笑ったりしなが
ら一緒に楽しんでいるのが不思議だ。

ぼくも、大人になった時自分の子どもと、

「ドラゴンボール」を一緒に見たいなと思う。
小さい時のいろんなことを、思い出しながら
見るのかな。きっと自分の子どもも、ドキド
キしながら見てるから、ぼくも結末は教えな
い。

そうやって「ドラゴンボール」はずっと続くん
だ。ずっとずっと永遠に、いつもぼくたちの
心に勇気や元気を与えてくれるんだ。

ドラゴンボールは永遠に続くんだ。